



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 東京急行電鉄株式会社
 コード番号 9005 URL <https://www.tokyu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計グループ 課長 (氏名) 小田 克
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3477-6168

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	280,116	2.4	23,156	6.5	23,460	11.6	16,380	20.9
2019年3月期第1四半期	273,613	△3.5	21,748	△24.6	21,027	△27.9	13,545	△33.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 17,209百万円 (44.1%) 2019年3月期第1四半期 11,940百万円 (△41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	26.94	—
2019年3月期第1四半期	22.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,423,015	807,872	31.2
2019年3月期	2,412,876	796,164	30.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 756,252百万円 2019年3月期 745,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	1,198,900	3.6	83,000	1.3	82,800	1.1	58,000	0.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	624,869,876 株	2019年3月期	624,869,876 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	16,794,853 株	2019年3月期	16,939,824 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	608,004,253 株	2019年3月期1Q	607,615,599 株
------------	---------------	------------	---------------

(注)自己株式に含めている従業員持株会信託口及び役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。
2020年3月期第1四半期:982,400株 2019年3月期:1,129,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きくなる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定期的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

「2019年度 第1四半期決算概況資料」は、本日(2019年8月8日)、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社および連結子会社は、将来の大きな飛躍に向け、既存事業・プロジェクトを強化するとともに、当社の強みを生かすことのできる新規領域にも積極的に進出することにより、持続的な成長を目指すことを方針に据え、中期3か年経営計画「Make the Sustainable Growth」を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、当社の不動産販売業や不動産賃貸業が堅調に推移したこと等により、2,801億1千6百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は231億5千6百万円（同6.5%増）となりました。経常利益は持分法による投資利益が増加したこと等により、234億6千万円（同11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163億8千万円（同20.9%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、当社の鉄軌道業において、当第1四半期連結累計期間における輸送人員は、ゴールデンウィークの大型連休化や沿線内での開催イベントが好調であったこと等により、定期で0.0%減少、定期外で2.5%増加し、全体で1.0%の増加となりました。

この結果、営業収益は、523億7千8百万円（同0.5%増）、当社の鉄軌道業における、減価償却費や動力費の増加等もあり、営業利益は、87億7千4百万円（同2.1%減）となりました。

(当社の鉄軌道業の営業成績)

種別		単位	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
			2018. 4. 1～2018. 6. 30	2019. 4. 1～2019. 6. 30
営業日数		日	91	91
営業キロ程		キロ	104.9	104.9
客車走行キロ		千キロ	37,838	37,806
輸送人員	定期外	千人	117,845	120,762
	定期	千人	185,914	185,907
	計	千人	303,759	306,669
旅客運輸収入	定期外	百万円	19,261	19,758
	定期	百万円	16,489	16,489
	計	百万円	35,750	36,247
運輸雑収		百万円	3,574	3,571
収入合計		百万円	39,324	39,818
一日平均旅客運輸収入		百万円	393	398
乗車効率		%	52.4	53.0

(注) 乗車効率の算出方法
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、当社の不動産販売業において物件の販売収入が増加したことや、当社の不動産賃貸事業における、2018年9月に開業した渋谷ストリームによる増収等により、営業収益は、452億8千2百万円（同3.7%増）、営業利益は、94億7千万円（同20.9%増）となりました。

③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、電力小売事業の(株)東急パワーサプライにおいて顧客獲得が進捗したこと等により、営業収益は1,717億1千8百万円（同2.3%増）、営業利益は39億7千8百万円（同10.4%増）となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、ホテル業の(株)東急ホテルズにおいて、高稼働を維持したことに加え、販売単価も増加したこと等により、営業収益は、257億3千4百万円(同5.2%増)、経費の増加等により、営業利益は、8億9千万円(同30.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、当社の有形固定資産の増加等により、2兆4,230億1千5百万円(前期末比101億3千9百万円増)となりました。

(負債)

負債は、有利子負債(※)が、1兆817億6百万円(同152億8千4百万円増)となったものの、設備投資に関わる未払金が減少したこと等により、1兆6,151億4千2百万円(同15億6千8百万円減)となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、8,078億7千2百万円(同117億8百万円増)となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表時の予想(2019年5月13日公表)を変更していません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,229	43,893
受取手形及び売掛金	165,465	153,121
商品及び製品	14,068	14,925
分譲土地建物	47,811	48,301
仕掛品	5,152	8,430
原材料及び貯蔵品	7,803	7,673
その他	40,952	37,842
貸倒引当金	△1,239	△1,263
流動資産合計	314,244	312,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	788,980	782,685
機械装置及び運搬具(純額)	70,270	68,407
土地	710,176	714,481
建設仮勘定	196,508	211,631
その他(純額)	28,013	27,754
有形固定資産合計	1,793,950	1,804,960
無形固定資産	37,843	39,054
投資その他の資産		
投資有価証券	174,150	174,153
退職給付に係る資産	6,349	6,356
繰延税金資産	17,851	15,976
その他	69,153	70,342
貸倒引当金	△667	△751
投資その他の資産合計	266,838	266,077
固定資産合計	2,098,632	2,110,091
資産合計	2,412,876	2,423,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,811	96,675
短期借入金	334,796	328,432
コマーシャル・ペーパー	—	14,000
1年内償還予定の社債	23,138	33,138
未払法人税等	14,607	5,549
引当金	12,351	8,477
前受金	39,074	44,249
その他	124,981	115,358
流動負債合計	647,760	645,881
固定負債		
社債	220,090	200,090
長期借入金	488,397	506,046
引当金	2,757	2,790
退職給付に係る負債	43,401	43,937
長期預り保証金	134,953	136,255
繰延税金負債	14,962	15,059
再評価に係る繰延税金負債	9,170	9,170
その他	40,157	41,479
固定負債合計	953,890	954,829
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	15,060	14,432
負債合計	1,616,711	1,615,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	133,763	133,764
利益剰余金	495,343	505,729
自己株式	△28,506	△28,263
株主資本合計	722,325	732,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,735	16,432
繰延ヘッジ損益	△179	△140
土地再評価差額金	8,404	8,404
為替換算調整勘定	3,764	3,841
退職給付に係る調整累計額	△5,816	△5,241
その他の包括利益累計額合計	22,907	23,296
非支配株主持分	50,930	51,620
純資産合計	796,164	807,872
負債純資産合計	2,412,876	2,423,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	273,613	280,116
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	201,689	204,823
販売費及び一般管理費	50,175	52,136
営業費合計	251,864	256,960
営業利益	21,748	23,156
営業外収益		
受取利息	86	86
受取配当金	478	498
持分法による投資利益	1,068	1,582
保険配当金	716	784
その他	650	814
営業外収益合計	3,000	3,765
営業外費用		
支払利息	2,327	2,289
その他	1,394	1,172
営業外費用合計	3,721	3,461
経常利益	21,027	23,460
特別利益		
固定資産売却益	70	15
工事負担金等受入額	170	231
特定都市鉄道整備準備金取崩額	627	627
その他	106	115
特別利益合計	975	989
特別損失		
工事負担金等圧縮額	142	146
固定資産除却損	544	213
投資有価証券評価損	618	—
その他	89	118
特別損失合計	1,394	477
税金等調整前四半期純利益	20,608	23,972
法人税等	6,703	7,196
四半期純利益	13,905	16,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	359	395
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,545	16,380

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	13,905	16,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,100	△370
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△3,093	76
退職給付に係る調整額	344	564
持分法適用会社に対する持分相当額	△318	163
その他の包括利益合計	△1,965	432
四半期包括利益	11,940	17,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,485	16,769
非支配株主に係る四半期包括利益	△545	439

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	51,668	33,216	164,445	24,282	273,613	—	273,613
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	455	10,445	3,457	179	14,538	△14,538	—
計	52,124	43,662	167,902	24,462	288,152	△14,538	273,613
セグメント利益	8,960	7,834	3,603	1,280	21,680	68	21,748

(注) 1. セグメント利益の調整額68百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	51,929	34,816	167,810	25,560	280,116	—	280,116
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	448	10,465	3,908	174	14,997	△14,997	—
計	52,378	45,282	171,718	25,734	295,114	△14,997	280,116
セグメント利益	8,774	9,470	3,978	890	23,112	44	23,156

(注) 1. セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。